

問1 7世紀にムハンマドが創始したイスラム教が、アラビア半島の枠を超えて北アフリカや中央アジアまで急速に拡大した背景として、宗教上の仕組みから説明できるものはどれか。（2026年 三重公立入試 類似）

1. 唯一神アラーのもとでは、すべての信者が平等であると説いたため。  
2. 厳しい身分制度を肯定し、支配階級の権限を強化したため。  
3. 各地の神々をアラーの化身として認め、多神教を取り込んだため。  
4. 世俗の権力とは一切関わらず、個人の心の救済のみを追求したため。

問2 日本と中国の歴史的交流について述べた記述として、紀元1世紀に倭の奴国の王が金印を授かった時代、8世紀に僧の鑑真が来日した時代、13世紀に弘安の役が起きた時代の三つの時期における、中国の王朝名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2018年 福島県公立入試 類似）

1. 漢・唐・元  
2. 秦・唐・明  
3. 漢・隋・宋  
4. 秦・宋・元

問3 インダス文明の遺跡からは、動物などの図案とともに文字が刻まれた石造りの印章が多数発見されています。この文明で用いられた文字や、その背景について述べた文として正しいものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. 独自の文字が刻まれているが、現在においても解読されていない  
2. 粘土板に楔形文字が刻まれ、周辺地域との取引の記録として使われた  
3. パピルスにヒエログリフで記され、王の事績や神話が記録されていた  
4. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれ、占いを通じて政治の判断に用いられた

問4 現在のイラク付近にあたる、チグリス川・ユーフラテス川流域で成立したメソポタミア文明に関する記述として、正しいものはどれですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）

1. 月の満ち欠けの周期を一か月とする暦が作られ、時間は60進法で数えられた。  
2. 定期的に増水するナイル川の氾濫を予測するために、太陽暦が明された。  
3. インダス川流域において、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市が築かれた。  
4. 黄河の流域において、亀の甲羅や牛の骨に刻まれた甲骨文字が使われた。

問5 イスラム教が成立した7世紀末から8世紀初め頃、日本では奈良県に高松塚古墳が造られました。この古墳の石室壁画には、古代中国の思想に基づき、方位を守る「四神（ししん）」と呼ばれる青龍・白虎・朱雀・玄武などの動物や、当時の人々の姿が描かれています。このような壁画の内容から、当時の日本が最も強く影響を受けていたと考えられる文化の地域はどこですか。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. 中国  
2. インド  
3. ペルシャ  
4. ローマ

問6 古代中国の各王朝で見られた文化や社会の様子について述べた文として、正しいものはどれか。（2024年 和歌山公立入試 類似）

1. 殷の時代には、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使われていた。  
2. 秦の時代には、西方との交易路であるシルクロードを通じて仏教が伝わった。  
3. 漢の時代には、初めて青銅器が作られ、万里の長城の建設が開始された。  
4. 殷の時代には、始皇帝によって度量衡や貨幣の統一が進められた。

問7 アフリカ大陸北東部を流れるナイル川の流域で栄えた文明において、使用された文字と発達した暦の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2023年 青森県公立入試 類似）

1. 象形文字（ヒエログリフ） — 太陽暦  
2. 楔形文字 — 太陽暦  
3. 象形文字（ヒエログリフ） — 太陰暦  
4. 楔形文字 — 60進法

問8 ムハンマドがメッカでイスラム教の布教を始めた当初、現地の富裕層や権力者から激しい迫害を受けた理由として、最も適切な背景を説明したものを選びなさい。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 神の前ではすべての信者が平等であると説いたから  
2. 王を神の化身として崇拜することを強制したから  
3. 特定の身分の人だけが救われるという教義だったから  
4. 偶像崇拜を強く推奨し、古い寺院を壊したから

問9 ナイル川の流域で栄えた古代エジプト文明では、農耕に大きな影響を与える川のはららん時期を正確に知る必要がありました。そのために天文学が発達しましたが、その結果として作られ、現代の暦の基礎ともなったものはどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦  
2. 月の満ち欠けを基準とし、約29.5日を1か月とする太陰暦  
3. 時間を60秒、60分で区切るなど、数え方の基礎となった60進法  
4. 農作業の記録をつけるために考案された、粘土板に刻む楔形文字

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 唯一神アラーのもとでは、すべての信者が平等であると説いたため。	イスラム教は唯一神アラーへの絶対的な帰依を求めると同時に、信者間の平等を強く説きました。この教えは、既存の身分制度や部族間の対立に苦しんでいた人々に受け入れられ、イスラム帝国の拡大とともに広範な地域へ普及する要因となりました。
問2	<b>答え 1</b> 漢・唐・元	紀元57年に倭の女王が光武帝から金印を授かったのは「漢（後漢）」の時代です。その後、奈良時代の754年に鑑真が苦難の末に來日したのは、日本が遣唐使を派遣していた「唐」の時代にあたります。そして、1281年に九州北部で弘安の役が起きたのは、モンゴル帝国が国号を改めた「元」による侵攻によるものです。秦や明は、これらの出来事が起きた時期とは重なりません。
問3	<b>答え 1</b> 独自の文字が刻まれているが、現在においても解読されていない	インダス文明の印章に刻まれた「インダス文字」は、象形文字の一種と考えられていますが、ロゼッタ・ストーンのような解読の鍵となる資料が見つかっていないため、現在もその内容は解読されていません。選択肢にある楔形文字はメソポタミア文明、ヒエログリフはエジプト文明、甲骨文字は中国文明（殷）において使用されたものです。
問4	<b>答え 1</b> 月の満ち欠けの周期を一か月とする暦が作られ、時間は60進法で教えられた。	メソポタミア文明では、天文学が発達し、月の満ち欠けに基づいた「太陰暦」が用いられました。また、角度や時間を測る際に「60進法」が取り入れられており、これは現代の1分が60秒、1時間が60分という仕組みの源流となっています。他の選択肢は、ナイル川流域のエジプト文明、インダス川流域のインダス文明、黄河流域の中国文明に関する説明であり、地理的背景や文化遺産を区別して理解しておく必要があります。
問5	<b>答え 1</b> 中国	高松塚古墳の壁画に描かれた四神の思想や人物の服装は、当時の唐（中国）の文化の影響を強く反映したものです。この時期の日本は、遣唐使などを通じて大陸の高度な技術や思想、宗教、政治制度を積極的に導入し、国家の形成を進めていました。
問6	<b>答え 1</b> 殷の時代には、亀の甲羅や動物の骨に刻まれた甲骨文字が使われていた。	紀元前16世紀頃に興った殷（商）では、占いの結果などを記録するために、亀の甲羅や牛の骨に文字を刻みました。これが漢字の原型とされる甲骨文字です。シルクロードの開通や仏教の伝来は漢の時代の出来事であり、度量衡の統一や万里の長城の整備は秦の時代の政策です。
問7	<b>答え 1</b> 象形文字（ヒエログリフ） — 太陽暦	ナイル川流域のエジプト文明では、川の定期的な氾濫時期を予測する必要から天文学が発達し、1年を365日とする太陽暦が作られました。また、神殿や墓の壁画などには象形文字（ヒエログリフ）が刻まれました。一方、楔形文字や60進法、太陰暦は、チグリス川・ユーフラテス川流域のメソポタミア文明の特徴です。
問8	<b>答え 1</b> 神の前ではすべての信者が平等であると説いたから	イスラム教は、神の前での平等を説き、貧しい人々への施しを重視しました。この教えは、商業によって利益を独占し、身分格差を維持しようとしていたメッカの富裕層にとって、既存の社会秩序を脅かす危険な思想とみなされたため、厳しい弾圧を受けることになりました。
問9	<b>答え 1</b> 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦	エジプト文明は「ナイルのたまもの」と呼ばれるほど、川のはんらんがもたらす肥沃な土壌に依存していました。はんらんの周期を予測することは、農作業の計画を立てる上で国家の死活問題であったため、天文学が高度に発達し、太陽に基づいた暦が誕生しました。なお、太陰暦や60進法、楔形文字はメソポタミア文明の主要な特徴です。